

「聖書と自死」<sup>1</sup>

● ディスカッション

- A. 第6戒「殺してはならない」は具体的にどういう意味でしょうか？
- B. 「自死」は第6戒に適応するのでしょうか？なぜ人は「自死」するのでしょうか。「自死」ではない行いは何でしょうか。
- C. クリスチャンが自死しまったら、その人はクリスチャンだったのでしょうか。その人は天国へ行けるのでしょうか。
- D. もし自死してしまったクリスチャンが赦され、すぐに天国へ行くことができるのであれば、なぜクリスチャンはより多くの自死しないのでしょうか。

I. 自死は罪なのか？

罪とは何でしょうか？

**WSC14** 罪とは何であるか。答 罪とは、神の律法に少しでもかなわないこと、または、これを犯すことである。(1John3:4)

- “罪を犯している者はみな、律法に違反しています。罪とは律法に違反することです。”(1 John 3:4 SKY2017)

**WSC42** 十戒(神の律法)の要点は何であるか。答 十戒の要点は、心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なる私たちの神を愛すること、また、自分を愛するように私たちの隣り人を愛することである。

→サタンの大命令ではありません！

第6戒「殺してはならない」の意味は、自分と他人のいのちを守ること

- **WSC68** 第六戒は何を求めているか。答 第六戒は、私たち自身の生命と、他の人々の生命を保つためのすべての正当な努力を求めている。
- **WLC135** 第六戒で求められている義務は、何であるか。答 第六戒で求められている義務は、次の通りである。すなわち、自分(1)と他人(2)の命を保持するため、できる限り注意深く研究し、合法的に努力することであって、それは、だれのものであれ不正に命を奪うようになるすべての思いと企てを制御し(3)、すべての感情を押え(4)、すべての機会(5)・誘惑(6)・習慣を避けることにより(7)、暴力に対する正当防衛(8)・神のみ手を忍耐して辛抱すること(9)・精神の平静(10)・心の喜びにより(11)、食物(12)・飲物(13)・医薬(14)・睡眠(15)・労働(16)・娯楽(17)を適度に用いることにより、慈悲深い思い(18)・愛(19)・同情(20)・柔和・温順・親切により(21)、穏和な(22)礼節ある言葉づかいや行為(23)・忍耐・進んで人と和らぐこと・傷害を忍んで耐えまた許すこと・悪に報いるのに善をもってすることにより(24)、また悩む者を慰め助け・罪のない者を保護し防御することによるのである(25)。
- **WSC69** 第六戒は何を禁じているか。答 第六戒は、私たち自身の生命を、あるいは不当に隣人の生命を奪うこと、また、そのようなことに傾くすべてのことを禁じている。
- **WLC136** 第六戒で禁じられている罪は、何であるか。答 第六戒で禁じられている罪は、次の通りである。すなわち、社会正義(1)・合法的戦争(2)・止むをえない防衛の場合以外(3)に、すべて自分(4)または他人(5)の命を奪うこと。生命保持の合法的な、または止むをえない手段を無視したり撤回したりすること(6)。罪深い怒り(7)・憎しみ(8)・うらやみ(9)・復しゅう心(10)、すべての過度の情欲(11)、取り乱した思いわずらい(12)、食物・飲物(13)・労働(14)・娯楽(15)に度を過ごすこと。人を怒らせる言葉(16)・虐待(17)・口論(18)・殴打・傷害(19)・またその他、だれのものであれ命を滅ぼすようになるすべてのことである(20)。

<sup>1</sup> David VanDrunen, Christian Life and BioEthics

マークの第6戒の要約: 神様のご支配に従って、神様の似姿に造られた、高価で、美しい人間のいのちを守り、人間のいのちに害を与えないこと。

- “神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。” (Gen 1:27)
- “人の血を流す者は、人によって血を流される。神は人を神のかたちとして 造ったからである。” (Gen 9:6)

「神様に赦された自死」はそもそも自死ではない。

「社会正義」、「合法的戦争」、「止むをえない防衛」のために、人を殺すことは、「殺人」ではないのです。なぜなら、「いのち」を守っているからなのです。それゆえ、以下のような行いは、自死ではない。

- 塩狩峠 → 止むをえない防衛、
- 十字架 → 社会正義
- 300人のスパルタ兵、サムソンの自死 → 合法的戦争
- グレーゾーンもあり！(自然死と自死)

聖書にある5人の「自死」

ある神学者は、以下の5人の自死を見て、「自死は罪だ」とはっきり書いていないから、自死は罪ではないと主張します。しかし、以下の文脈を見ると、①5人は様々な罪を犯したゆえに窮地においこまれ、②裁きから逃れるために自死した。「自死」はポジティブに書いていないことは明らかなことです。

- アビメレク(士師9:53-56)“そのとき、一人の女がアビメレクの頭にひき臼の上石を投げつけて、彼の頭蓋骨を砕いた。アビメレクは急いで、道具持ちの若者を呼んで言った。「おまえの剣を抜いて、私にとどめを刺せ。女が殺したのだと私について人が言わないように。」若者が彼を刺したので、彼は死んだ。イスラエル人はアビメレクが死んだのを見て、一人ひとり自分のところへ帰って行った。こうして神は、アビメレクが兄弟七十人を殺して自分の父に行った、その悪の報いを彼に返された。”
- サウル王(1サム31:4)“サウルは道具持ちに言った。「おまえの剣を抜いて、私を刺し殺してくれ。さもないと、あの無割礼の者たちがやって来て、私を刺し殺し、私をなぶりものにすだろう。」しかし、道具持ちは非常に恐れて、とうていその気になれなかった。それでサウルは剣を取り、その上に倒れ込んだ。”
- アヒトフェル(2サム17:23)―“アヒトフェルは、自分の助言が実行されないのを見ると、ろばに鞍を置いて自分の町の家に帰り、家を整理して首をくって死んだ。彼は彼の父の墓に葬られた。”
- ユダ(マタイ27:5)―“そのころ、イエスを売ったユダはイエスが死刑に定められたのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちと長老たちに返して、言った。「私は無実の人の血を売って罪を犯しました。」しかし、彼らは言った。「われわれの知ったことか。自分で始末することだ。」そこで、彼は銀貨を神殿に投げ込んで立ち去った。そして出て行って首をつった。”
- ジムリ(1列王16:18-19): “ジムリは町が攻め取られるのを見ると、王宮の高殿に入り、自ら王宮に火を放って死んだ。これは、彼が罪を犯して主の目に悪であることを行い、ヤロブアムの道に歩んだその罪のゆえであり、イスラエルに罪を犯させた彼の罪のゆえであった。”

## II. 自死したクリスチャンは天国へ行くのか？

質問を言い換えると、「第6戒を破ったクリスチャンは天国へ行くのか？」

クリスチャンとは、そもそも、どういう人ですか？

問31 有効召命とは何であるか。

答 有効召命とは、神の御霊のわざであって(1)、それによって御霊は、私たちに自分の罪と悲惨を自覚させ(2)、キリストを知ることにおいて私たちの心を照らし意志(3)を新たにし、福音(4)において私たちに価

なしに提供されているイエス・キリストを受け入れるように説得し、また、受け入れることができるようにされる(5)。

**WCF 17.4** 救済的信仰のおもな行為は、義認と聖化と永遠の命のため、恵みの契約に基づいて、ただキリストのみを認め、受け入れ、寄り頼むことである

天国とは何ですか？クリスチャンが天国へ行く根拠は？

**WCF12**子とすることについて

義とされるすべての者を、神はそのひとり子イエス・キリストにあって、また彼のゆえに、子とする恵みにもあずかるものとされる(1)。それによって、彼らは神の子の数に入れられ、その自由と特権を受け(2)、神のみ名をその上にしるされ(3)、子たる身分を受ける霊を受け(4)、大胆に恵みのみ座に近付き(5)、アバ父と呼ぶことができるようにされ(6)、あわれみをこうむり(7)、守られ(8)、備えられ(9)、親から受けるように神から懲らしめられ(10)、しかし決して捨てられず(11)、それどころか、あがないの日のために証印され(12)、永遠の救いの相続人として(13)、いろいろな約束を受けつぐ(14)

問33 義とすることとは何であるか。

答 義とすることとは、価なしに与えられる神の恵みの行為であって(1)、神はそれによって私たちのすべての罪をゆるし、私たちを神の前に義人として受け入れられる(2)。それは私たちに転嫁され(3)、また、ただ信仰によって受けるキリストの義によるのみである(4)。

しかし、クリスチャンが救いを失うことはないのか？

**WCF17**章 聖徒の堅忍について

1 神がその愛するみ子において受け入れ、みたまによって有効に召命され、きよめられた人々には、恵みの状態から全的にも最後のにも墮落することはあり得ない。かえってその状態に終りまで確実に堅忍し、そして永遠に救われる(1)。

3 それにもかかわらず、彼らは、サタンとこの世の誘惑、自分のうちに残っている腐敗の優勢さ、また自分を保持する手段を怠ることによって、ひどい罪に陥り(1)、しばらくの間そのうちにとどまることがある(2)。このため彼らは、神の不興をひきおこし(3)、神の聖霊を悲しませ(4)、自分の受けている恵みや慰めがある程度奪われるようになり(5)、心をかたくなにし(6)、良心を傷つけ(7)、他の人々をつまずかせ(8)、また自分に一時的審判をもたらす(9)。

III. クリスチャンはなぜ自死を選ばないのか？

クリスチャンが罪を犯さない理由は、天国へいくためではなく、イエス様を愛すためです。

- “それでは、どのように言うべきでしょうか。恵みが増し加わるために、私たちは罪にとどまるべきでしょうか。決してそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうしてなおも罪のうちに生きていられるのでしょうか。”(ローマ 6:1-2 SKY2017)
- マークがよく使う「例え」

「自死」の根底にあるのは、「生きる目的」または自分が「苦しむ」目的は何なのか。

- 自死する主な理由は、(多くの場合)自分が抱えている苦しみを終えるために、自分のいのちを終わらせること。「自死」が存在する理由は、この世の苦しみと罪が激しいから。その苦しみを軽んじてはいけません。

- 天国と地獄、永遠なものを否定する21世紀の人の人生の目的とは？ Minimize Suffering. (功利主義(こうりしゅぎ)またはユーティリタリアニズム)。しかし、クリスチャンの人生の目的は、「苦しみ」を減らすためではありません。

#### 深く苦しんで、「自死」を拒んだヨブの信仰

- ヨブ1章: サタンを試練によって、ヨブは財産と子供たちを失った。
- (ヨブ 2:7-10) “サタンは主の前から出て行き、ヨブを足の裏から頭の頂まで、悪性の腫物で打った。ヨブは土器のかけらを取り、それでからだを引っかいた。彼は灰の中に座っていた。すると、妻が彼に言った。「あなたは、これでもなお、自分の誠実さを堅く保とうとしているのですか。神を呪って死になさい。」しかし、彼は妻に言った。「あなたは、どこかの愚かな女が言うようなことを言っている。私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわざ受けるべきではないか。」ヨブはこのすべてのことにおいても、唇によって罪に陥ることはなかった。”
- (ヨブ3:20-22) “なぜ、苦悩する者に光が、心の痛んだ者にいのちが与えられるのか。彼らは死を待つが、死はやって来ない。隠された宝にまさって死を探し求めても。彼らは墓を見出したときに、歓声をあげて喜び楽しむ。”
- (ヤコブ5:11) “見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。”

#### 深く苦しんで、天国よりもこの地上を選んだパウロ

- “私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。しかし、肉体において生きることが続いたら、私の働きが実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいか、私には分かりません。私は、その二つのことの間で板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。そのほうが、はるかに望ましいのです。しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためにはもっと必要です。このことを確信しているので、あなたがたの信仰の前進と喜びのために、私が生きながらえて、あなたがたすべてとともにいるようになることを知っています。そうなれば、私は再びあなたがたのもとに行けるので、私に関するあなたがたの誇りは、キリスト・イエスにあって増し加わるでしょう。” (Philippians 1:21-26 SKY2017)

しかし、ヨブとパウロのイエス様のひな型に過ぎません。

“信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。あなたがたは、罪人たちの、ご自分に対するこのような反抗を耐え忍ばれた方のことを考えなさい。あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするためです。”

(Hebrews 12:2-3 SKY2017)